

(公社) 土木学会環境工学委員会主催・岐阜大学共催  
第 54 回環境工学研究フォーラム  
(2017 年 11 月/17 日～19 日, 岐阜大学)

## 一般公開シンポジウム

### 「人口減少社会における環境工学の展開」

日 時 : 平成 29 年 11 月 18 日 (土) 15:20 ~ 17:00  
場 所 : 岐阜大学柳戸キャンパス・講堂 (岐阜県岐阜市柳戸 1-1)  
参加申込 : 不要 (参加無料)

わが国の人口は、2004 年 12 月に 1 億 2784 万人のピークに達し、その後減少に転じた。すでに人口減少社会に入ってから 10 年以上が経過したことになる。そしてわが国は、人口が急速に縮小していく世界最初の先進国であるとも指摘されている。

この状況下において、上水道、下水道、廃棄物などの環境関連施設・事業はさまざまな影響を受けつつあるが、それらに類似点や相違点はみられるだろうか？ 今後はどのような道を選択すべきであろうか？ また、従来対象としてきた環境問題の前提は、今後いかに扱っていけばよいのだろうか？

本シンポジウムでは、上水道分野、下水道分野、廃棄物分野からパネリストを迎え、まず、各分野の動向や、ハード面・ソフト面での課題を論じていただく。その後、下記にリストアップする論点についてパネルディスカッションを行う。これによって、各分野相互の協力関係を構築することが必要であるとの認識の形成、技術ニーズと必要な技術開発・研究内容の抽出、環境工学としての方向付けを目指す。

#### 発表者 (パネリスト)

上水道分野 : 伊藤 禎彦\* 京都大学 教授  
下水道分野 : 船水 尚行 北海道大学 教授  
廃棄物分野 : 稲葉 陸太 国立環境研究所 主任研究員  
(\*コーディネーター)

#### パネルディスカッション : 以下の項目について議論を行う

- 1) 上水道、下水道、廃棄物分野の現状に関する情報交換
- 2) 各分野の見通しと課題の認識
- 3) 技術ニーズと必要な技術開発・研究
- 4) 制度上の課題、行政的対応策
- 5) 都市・地域計画との関連
- 6) 環境問題としての扱い方